

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成 29年 7月 31 日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市右京区嵯峨明星町1-1		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 京都バス株式会社 代表取締役 宮川豪夫
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	グリーン経営認証	
適用範囲	京都バス株式会社 嵐山営業所・高野営業所	
導入年月日	（嵐山営業所）平成21年3月19日・（高野営業所）平成21年9月10日	
認証番号	（嵐山営業所）B260001・（高野営業所）B260002	
基本方針	京都バス株式会社は旅客自動車運送事業活動から生じる環境への影響を配慮し、対応していくことを社会的責務と認識し、次の通り「環境方針」を定めている。 1. 意識の向上 2. 法令の遵守 3. 目的や目標の設定と継続的な改善 4. 環境汚染の予防と環境負荷の低減 5. 重点実施項目への取り組み 6. 地域社会への貢献	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	ハイブリッド車の導入・・・2両 燃料消費率の向上・・・前年度比1%向上 電気使用量・・・対前年比1%削減	
目標を達成するための取組の内容	・燃料向上・・・エコドライブの実施、デジタルタコグラフのデータ活用及び添乗による指導中 ・低公害車の導入・・・最新規制適合車の導入 ・電気使用量削減・・・冷暖房設定温度の適正化、不必要な照明の消灯	
目標を達成するための取組の進捗状況	・燃料向上・・・エコドライブ実施、デジタルタコグラフのデータ活用及び添乗による指導中 ・低公害車の導入・・・ハイブリッド車の導入及び最新規制適合車への代替計画作成 ・電気使用量削減・・・冷暖房設定温度の適正化、不必要な照明の消灯を実施中	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・燃料消費率（km/l）・・・対前年度比0.4%向上 ・低公害車の導入・・・平成28年度はハイブリッド車2両導入 最新規制適合車3両導入 ・電気使用量・・・対前年比約10%増加 ・ガス使用量・・・対前年比約11%減少 年間を通して電気の使用量が増加しているが、ガスの使用量は減少傾向にある、課題としては電気の使用量を抑えるようにする。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規については、各部担当部署にて状況確認を行い遵守している。過去に法令違反の指摘は受けていない	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	年に1回、環境会議を行い環境目標や取り組みについて検討、評価、見直しを実施している。 平成28年度もグリーン経営認証基準に基づき取り組みを行った。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。